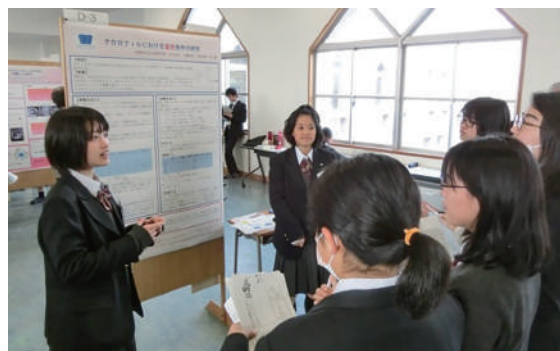


好奇心とチャレンジを応援！

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)

平成 29 年度から 5 年間の第 4 期継続指定

平成 16 年度以来、3 期 13 年間で培った「科学する心」を育む理数教育をさらに発展させ、課題研究で求められる資質・能力をリストアップした「洛北 Step Up Matrix」を活用することなどにより、主体的に課題を見だし、創造性豊かに粘り強く探究していくことができる次世代の科学技術分野を牽引する人材を育てていきます。



SSH の取り組みの例

課題探究Ⅰ (サイエンス科)	生物・化学・数学・物理・環境の基礎実験およびミニ課題研究に取り組むことで、研究の手法を実践的に体験し、課題を見いだす力、仮説を設定していく力を育てていきます。
課題探究Ⅱ (サイエンス科)	自らテーマを設定し、1 年間をかけて課題研究に取り組み、論文作成やポスター発表で発信していく力を育成します。大学・研究機関の研究者から指導助言をもらうアドバンスセミナーを実施しています。
サイエンスチャレンジ	昼休みや放課後・休日を利用したプログラムで、「好奇心」がある人ならば、誰でも参加できます。例年多くの生徒が参加しており、サイエンスに興味をもつ生徒同士の交流の場にもなっています。
サイエンス部	物理・化学・生物・地学・数学・競技科学の 6 つの班にわかれ、それぞれ活動を行っています。毎年論文を執筆するなど活発な活動が行われています。
サイエンスフェスタ等での発表	サイエンス部などで研究した成果を発表します。
サイエンス研究 (サイエンス科・普通科文理コース)	「洛北総合選択」の選択科目で、1 年間をかけて学会発表やコンテスト応募を目標とした高度な課題研究を行うことができます。



サイエンスチャレンジ
「ガラス細工体験+ろうそくの科学」



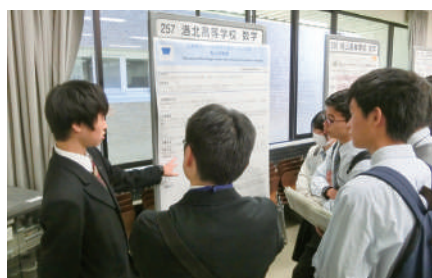
サイエンスチャレンジ
「モノづくり基礎講座」



サイエンスチャレンジ
「数学の課題研究を体験しよう」



サイエンスチャレンジ
「色とりどりの七宝焼きを作ってみよう」



サイエンスフェスタ



課題探究Ⅱ 研究報告発表会

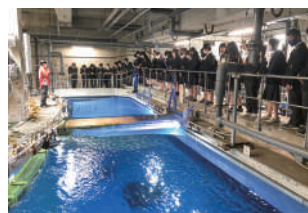
サタデープロジェクトでもっと わくわくする！



アラビア語講座



京都歴史ツアー魔界編



名古屋港水族館見学



総合地球環境学研究所特別講義

サタデープロジェクトとは？

土曜セミナー（補習）のない土曜日に、洛北高校の教員や外部の社会人を講師として、サイエンス、外国語、社会学、歴史学などに関する内容をテーマとして研究する講座のことです。学年やコースの枠を超えて、多くの生徒たちが参加し、好奇心を満たしています。

＊令和2年度実施企画

- ・アラビア語講座
- ・京都歴史ツアー魔界編
- ・アートホテル探訪
- ・洛北古典漫遊「麒麟」を往く
- ・マネーセミナー ～人生100年時代を生き抜くための賢いお金とのつきあい方～ など

令和2年度の取組

- ・特別講義
「薬と植物の関わり」 京都大学大学院薬学研究科
「難民問題と環境問題」 総合地球環境学研究所
「昆虫と微生物の共生進化」 産業技術総合研究所
「確率から確率論へ」 奈良女子大学
- ・名古屋港水族館見学
- ・アジアサイエンスリサーチプロジェクト in 京都
- ・英語プレゼンテーション講座

世界へチャレンジする生徒を応援！多彩な国際化推進事業

アジアサイエンスリサーチプロジェクト、スタンフォード大学オンライン講座や、海外にいる同世代の学生たちとコンピュータを用いた交流を行う global classmates など、多彩なプログラムに参加しています。

また、洛北高校独自のプログラム「グローバル人材育成プログラム」では、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学 (MIT)、スタンフォード大学の学生や留学生とのディスカッションやプレゼンテーション等の様々なプロジェクトを通して、グローバル社会で活躍する創造性あふれる人を育てます。（海外渡航ができない年度は国内の代替プログラム「グローバル探究プログラム」を実施予定。）

洛北高校独自のグローバル人材 育成プログラム



ボストンの MIT ミュージアムにて

1人1台の学習用タブレット端末/Classi/ロイロノート・スクールの活用

本校では令和3年度入学生より、1人1台の学習用タブレット端末を活用し、授業・課外活動・家庭学習を進めます。高校入学時に、学校指定端末（またはそれに準じる端末）を用意していただきます。それらの端末のうち MDM(Mobile Device Management) で管理されたものは校内ネットワーク (Wi-Fi) が使用できます。

また、①学びの軌跡を保存し振り返るポートフォリオ機能、②双方向の情報共有ができるコミュニケーション機能、③生徒一人一人に最適な学習を提供できるアダプティブラーニング機能、④主体性を育む授業を支援するアクティブ・ラーニング機能、を有する「Classi」や、生徒が主体的に学び合う双方向授業を実現できる「ロイロノート・スクール」を、共通ソフトウェアとして導入しています。

在校生からのメッセージ

小山 絢加さん (文理コース2年)

私は1年生の時に、京都府 WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) 高校生サミットに参加しました。サミットでは、全国から参加した9校の高校生らと SDGs について英語・日本語で議論し、グループごとに提言をまとめて発表しました。

参加して良かったことは同年代の人の意見を知ることや、人前で話すのが苦手な自分でも楽しく意見交換ができたことです。フィードバックで改善点を指摘してもらい自分の意見を見つめ直すきっかけにもなりました。洛北高校では、文系・理系の垣根を超えて自身の興味を深めることができるプログラムが多く用意されています。ぜひ洛北高校でさまざまなプログラムに参加し、充実した高校生活を送ってください。

※京都府 WWL 高校生サミットとは

世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材の育成を目的とした文部科学省 WWL コンソーシアム構築支援事業の一環として京都府教育委員会が実施した取組で、メイン会場の府立島羽高等学校と秋田県・山形県・沖縄県などの高校をオンラインで接続して開催されました。

在校生からのメッセージ

清原 優輝さん (文理コース2年)

洛北高校のサタデープロジェクトでは、さまざまなことを研究することができます。僕は、サイエンス系の講座に多数参加しました。そこでは、霧箱で放射線を観察したり、プラズマを発生させてルビーを作ったりしました。少し難しい内容もありますが、非常に興味深いものばかりです。みなさんも、ぜひ洛北高校でサタデープロジェクトに参加してみてください。